



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社 サンマルクホールディングス
コード番号 3395 URL <https://www.saint-marc-hd.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤川 祐樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 岡村 淳弘

TEL 086-246-0309

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

2022年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	27,418	25.1	495		715	463.6	392	
2022年3月期第2四半期	21,914	19.8	2,709		126		5,741	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 394百万円 (%) 2022年3月期第2四半期 5,744百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	18.94	15.42
2022年3月期第2四半期	269.38	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	47,512	31,122	65.5
2022年3月期	48,021	31,147	64.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 31,105百万円 2022年3月期 31,130百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		22.00		22.00	44.00
2023年3月期		22.00			
2023年3月期(予想)				22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	17.3	0		1,300	47.4	700		33.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2022年11月11日)公表いたしました「2023年3月期第2四半期業績予想と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	22,777,370 株	2022年3月期	22,777,370 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	2,024,130 株	2022年3月期	2,046,694 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	20,738,205 株	2022年3月期2Q	21,312,216 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	11
3. 補足情報 「参考資料」	12
(1) 仕入実績	12
(2) 販売実績	12
(3) 種類別販売実績	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長期化している新型コロナウイルスの感染拡大の影響が、3月下旬のまん延防止等重点措置の解除、ワクチン接種率の上昇に伴い一時的に緩和したものの、7月以降に感染が再拡大したことに加え、国際情勢の緊迫化による地政学的リスクの高まり、原材料・エネルギー価格の高騰、円安の進行などによる物価の急上昇により、消費減退は長引き、先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、全国的な感染者数の全数把握の見直しにより、客数回復への期待が高まる一方で、コロナ禍におけるライフスタイルの変化により夜間帯の外食の自粛傾向が続いております。また、企業で対応できる範囲を超えた原材料費・人件費・電力料等の著しいコスト増により、さらに厳しい経営環境となっております。

このような状況の下、当社グループにおきましては、引き続きお客様と従業員の安全・安心を第一としたアフターコロナに向けた店舗の環境作りに取り組んでまいりました。また、派生業態の開発・ブラッシュアップに加え、経年劣化が認められる既存店の内外装に係るメンテナンスを行い、既存店売上の回復に注力する一方で、不採算店舗を中心に業態変更や退店を実施することで業績の改善に努めてまいりました。

新規出店の状況につきましては、当第2四半期連結累計期間中にベーカリーレストラン・サンマルク直営店1店舗、生麺専門鎌倉パスタ直営店1店舗、神戸元町ドリア直営店4店舗、サンマルクカフェ直営店4店舗、倉式珈琲店1店舗をそれぞれ出店（当第2四半期連結累計期間出店数：直営店11店舗）し、これにより当社グループ全業態の当第2四半期連結会計期間末の合計店舗数は、直営店800店舗、フランチャイズ店31店舗、合計831店舗体制となりました。

これらの結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高274億18百万円（前年同期比25.1%増）、経常利益7億15百万円（前年同期比463.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億92百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失57億41百万円）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

レストラン事業売上高は157億14百万円（前年同期比34.8%増）、営業利益は3億82百万円（前年同期営業損失12億52百万円）となりました。

喫茶事業売上高は117億3百万円（前年同期比14.1%増）、営業損失は1億1百万円（前年同期営業損失7億92百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は475億12百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億9百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は197億68百万円となり、前連結会計年度末と比較して52百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が1億31百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は277億44百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億62百万円の減少となりました。これは減価償却費ならびに減損損失の計上等により建物及び構築物が4億47百万円減少したこと等によるものであります。

負債の部では、流動負債は53億2百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億49百万円の減少となりました。これは主に未払法人税等が3億39百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は110億87百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億34百万円の減少となりました。これは主に資産除去債務が57百万円減少したこと等によるものであります。

純資産の部は前連結会計年度末と比較して25百万円減少し、311億22百万円となりました。この結果、自己資本比率は65.5%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動の結果得られた資金は15億61百万円となり、この主なものは税金等調整前四半期純利益4億60百万円及び減価償却費10億88百万円をそれぞれ計上したこと等によるものであります。投資活動におきましては9億55百万円の資金を使用し、この主なものは有形固定資産の取得による支出8億4百万円等によるものであります。財務活動におきましては4億74百万円の資金を使用し、この主なものは配当金の支払額4億55百万円等によるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して1億31百万円増加し、157億71百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

上半期の売上高はほぼ想定水準通りに推移いたしました。損益面につきましては、企業で対応できる範囲を超えた原材料費・人件費・電力料等の著しいコスト増により、各段階損益とも業績予想を下回る結果となりました。下半期においては、政府による観光需要喚起策や入国制限の緩和によるインバウンド需要の増加が、人流回復に寄与することによる業績の回復が見込まれるものの、上記で触れた各コストの上昇は長期化し、先行き不透明な状況が続くことが想定されることから、上半期の業績の動向を踏まえ、2022年5月13日の決算短信で発表いたしました通期の連結業績予想を以下のとおり変更いたします。

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 56,000	百万円 2,000	百万円 2,500	百万円 1,100	円 銭 53.06
今回修正予想（B）	56,000	0	1,300	700	33.74
増減額（B－A）	－	△2,000	△1,200	△400	－
増減率（％）	－	△100.0	△48.0	△36.4	－
（ご参考）前期実績 （2022年3月期）	47,721	△3,578	2,472	△4,711	△222.03

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,640,081	15,771,384
売掛金	3,509,740	3,425,533
原材料及び貯蔵品	316,732	339,020
その他	620,176	672,249
貸倒引当金	△371,420	△440,106
流動資産合計	19,715,310	19,768,080
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,638,888	12,191,024
土地	3,648,228	3,648,228
その他(純額)	630,986	671,369
有形固定資産合計	16,918,103	16,510,622
無形固定資産		
その他	140,336	131,358
無形固定資産合計	140,336	131,358
投資その他の資産		
敷金及び保証金	8,513,537	8,427,842
その他	2,735,051	2,675,173
貸倒引当金	△738	△738
投資その他の資産合計	11,247,850	11,102,277
固定資産合計	28,306,290	27,744,258
資産合計	48,021,601	47,512,339
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,715,522	1,725,772
未払金	2,516,325	2,400,855
未払法人税等	551,827	212,117
引当金	79,687	78,583
資産除去債務	29,595	43,184
未払消費税等	449,846	487,445
その他	308,932	354,419
流動負債合計	5,651,738	5,302,378
固定負債		
社債	6,047,451	6,041,751
退職給付に係る負債	274,284	288,959
資産除去債務	4,448,108	4,390,824
その他	452,229	366,208
固定負債合計	11,222,074	11,087,743
負債合計	16,873,813	16,390,121

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,731,177	1,731,177
資本剰余金	3,038,800	3,038,800
利益剰余金	30,807,704	30,731,482
自己株式	△4,450,122	△4,401,000
株主資本合計	31,127,559	31,100,459
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,423	4,953
その他の包括利益累計額合計	3,423	4,953
新株予約権	16,805	16,805
純資産合計	31,147,787	31,122,217
負債純資産合計	48,021,601	47,512,339

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	21,914,914	27,418,046
売上原価	4,892,207	6,277,266
売上総利益	17,022,707	21,140,780
販売費及び一般管理費	19,732,314	21,636,000
営業損失(△)	△2,709,607	△495,219
営業外収益		
受取利息	2,130	2,233
受取配当金	854	1,166
受取賃貸料	116,071	123,145
感染拡大防止協力金	3,023,906	1,080,904
その他	45,957	156,364
営業外収益合計	3,188,920	1,363,813
営業外費用		
支払利息	5,621	—
支払賃借料	96,377	109,216
社債発行費	220,308	—
中途解約違約金	16,259	35,939
その他	13,855	8,326
営業外費用合計	352,422	153,482
経常利益	126,890	715,111
特別利益		
助成金収入	247,406	74,043
特別利益合計	247,406	74,043
特別損失		
固定資産除却損	46,078	71,846
減損損失	2,350,219	186,627
貸倒引当金繰入額	—	70,000
繰上返済手数料	23,892	—
新型コロナウイルス感染症による損失	223,032	—
特別損失合計	2,643,223	328,474
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,268,926	460,680
法人税、住民税及び事業税	448,752	150,397
法人税等調整額	3,023,504	△82,403
法人税等合計	3,472,256	67,994
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,741,182	392,686
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△5,741,182	392,686

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,741,182	392,686
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,755	1,529
その他の包括利益合計	△3,755	1,529
四半期包括利益	△5,744,938	394,216
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,744,938	394,216
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,268,926	460,680
減価償却費	1,281,761	1,088,393
減損損失	2,350,219	186,627
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,537	△1,104
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13,310	14,674
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,709	68,686
受取利息及び受取配当金	△2,984	△3,400
支払利息	5,621	—
助成金収入	△247,406	△74,043
固定資産除却損	46,078	71,846
繰上返済手数料	23,892	—
新型コロナウイルス感染症による損失	223,032	—
売上債権の増減額(△は増加)	846,922	84,207
棚卸資産の増減額(△は増加)	5,498	△22,178
仕入債務の増減額(△は減少)	△472,178	10,249
未払金の増減額(△は減少)	△153,356	△95,497
その他	943,736	231,540
小計	2,589,975	2,020,683
利息及び配当金の受取額	857	1,170
利息の支払額	△5,621	—
助成金の受取額	247,406	74,043
繰上返済手数料の支払額	△23,892	—
新型コロナウイルス感染症による損失の支払額	△198,314	—
法人税等の支払額	△418,057	△534,832
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,192,352	1,561,065
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△392,516	△804,287
投資有価証券の取得による支出	△25,000	—
無形固定資産の取得による支出	△5,011	△16,104
関係会社貸付けによる支出	△15,000	△80,000
資産除去債務の履行による支出	△158,000	△138,265
その他	285,117	83,194
投資活動によるキャッシュ・フロー	△310,410	△955,462
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△7,200,000	—
自己株式の取得による支出	△229	△146
自己株式の売却による収入	—	94
配当金の支払額	△468,225	△455,805
新株予約権付社債の発行による収入	6,056,951	—
新株予約権の発行による収入	16,805	—
割賦債務の返済による支出	△110,187	△18,441
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,704,885	△474,299
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	177,056	131,303
現金及び現金同等物の期首残高	15,015,996	15,640,081
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,193,052	15,771,384

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(繰上返済手数料の内容)

長期借入金の一部期限前返済を実施したことに伴う手数料であります。

(新型コロナウイルス感染症による影響)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症による影響に関する仮定について重要な変更はありません。

四半期連結損益計算書に記載されている「助成金収入」は、新型コロナウイルス感染症にかかる雇用調整助成金等であります。また、「新型コロナウイルス感染症による損失」は、新型コロナウイルス感染症に伴う、休業中店舗の人件費、地代家賃及び減価償却費であります。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益計算 書計上額 (注)2
	レストラン	喫茶	計		
売上高					
直営店売上	11,359,369	10,074,939	21,434,309	—	21,434,309
ロイヤリティ収入	41,964	15,295	57,259	—	57,259
FC関連等売上	257,091	166,253	423,345	—	423,345
外部顧客への売上高	11,658,426	10,256,488	21,914,914	—	21,914,914
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,658,426	10,256,488	21,914,914	—	21,914,914
セグメント損失(△)	△1,252,852	△792,318	△2,045,171	△664,435	△2,709,607

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△664,435千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」「喫茶」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗ならびに収益性の低下した店舗の固定資産に係る重要な減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、「レストラン」セグメントで1,206,288千円、「喫茶」セグメントで1,143,930千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
	レストラン	喫茶	計		
売上高					
直営店売上	15,371,391	11,508,520	26,879,912	—	26,879,912
ロイヤリティ収入	43,324	17,641	60,965	—	60,965
FC関連等売上	300,094	177,074	477,168	—	477,168
外部顧客への売上高	15,714,810	11,703,236	27,418,046	—	27,418,046
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,714,810	11,703,236	27,418,046	—	27,418,046
セグメント利益又は損失 (△)	382,453	△101,762	280,690	△775,910	△495,219

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△775,910千円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2022年7月1日付にて株式会社サンマルク、株式会社バケット及び株式会社函館市場を当社に吸収合併し、当社の実験業態を運営する事業開発部と併せ、レストラン事業部として、レストラン業態の実験、可能性を追求することとしたことに伴い、従来、「その他」に含まれていた実験業態に係る事業を「レストラン事業」の区分に含めております。

なお、当第2四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度に開示した第2四半期連結累計期間に係る報告セグメントとの間に相違が見られます。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン」「喫茶」セグメントにおいて、当第2四半期連結累計期間中に退店が決定した店舗ならびに収益性の低下した店舗の固定資産に係る重要な減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、「レストラン」セグメントで102,252千円、「喫茶」セグメントで84,374千円です。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

「参考資料」

当第2四半期連結累計期間より、セグメント区分の変更を行っており、前期比較については、変更後の区分方法に組み替えたものによっております。詳細につきましては、前記「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報) 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

(1) 仕入実績

当第2四半期連結累計期間の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	3,899,064	139.2
喫茶	2,394,415	114.7
合計	6,293,479	128.7

(2) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	15,714,810	134.8
喫茶	11,703,236	114.1
合計	27,418,046	125.1

(3) 種類別販売実績

当第2四半期連結累計期間の種類別販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

種類	直営店売上		ロイヤリティ収入		FC関連等売上		合計	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
レストラン	15,371,391	135.3	43,324	103.2	300,094	116.7	15,714,810	134.8
喫茶	11,508,520	114.2	17,641	115.3	177,074	106.5	11,703,236	114.1
合計	26,879,912	125.4	60,965	106.5	477,168	112.7	27,418,046	125.1